

議 会

なかたね町

だより

第137号 平成27年11月12日発行

平成27年第3回定例会

平成27年度補正予算 ②～③

一般質問(8人) ④～⑪

所管事務調査 ⑫～⑬

一部事務組合 ⑭～⑮

条例・臨時会・決算認定・その他 ⑯～⑰

議会の動き・編集後記 ⑱



岩岡小学校ウミガメ放流

平成27年9月定例会

9月定例会は、9月9日に招集され、9月18日までの10日間の会期で開かれました。

初日は、6人(下田敬三・日高和典・蓮子信二・池山朝生・永濱一則・戸田和代)の議員が一般質問を行いました。

9月10日の2日目は、初日に続き、2人(濱脇重樹・徳永紹道)の議員が一般質問を行い、その後、各常任委員会委員長の所管事務調査報告、中種子町健全化判断比率等の報告、条例1件、消防自動車購入契約1件、平成27年度補正予算を原案どおり可決。

また、平成26年度中種子町一般会計歳入歳出決算認定他6件が上程され、決算特別委員会へ付託されました。

最終日(18日)は、条例2件、補正予算を可決したほか、教育委員会委員の任命に同意しました。

平成27年度補正予算

◆一般会計補正予算(第3号)

今回の補正は、普通交付税の決定、国・県支出金等の予算内示等に伴う調整と、6月補正以降必要となった経費の追加、事業量の増加、減少に伴う調整等を行なうものです。

【歳入】

「地方交付税」は、交付決定による増額。

「国・県支出金」は、増田小学校擁壁復旧工事、子ども・子育て支援交付金、鳥獣被害防止総合対策事業の負担金・補助金を計上。

「寄附金」は、ふるさと納税5件分を増額。

「財産収入」は、町長車売り払い収入を計上。

「繰入金」は、肉用牛特

別導入事業基金廃止による畜産振興基金への組み替えと後期高齢者医療特別会計過年度精算繰入金を増額。

「諸収入」は、中南衛生管理組合からの前年度精算返納金の増額です。

【歳出】

「総務費」は、庁舎内放送設備と公用車の購入経費を増額。

また、番号制度関連機器改修作業委託料の増額。

「民生費」は、認定子ども園事業の事業変更による減額、一時預かり事業の補助基本額変更による増額。中央保育所軽トラック購入経費を計上。

「衛生費」は、公立種子島病院組合の繰り出し

割合の変更による負担金の追加。中南衛生管理組合の、し尿処理量の拡充のための多重円盤型汚泥脱水機購入に伴う負担金の増額。

「農林水産業費」は、サトウキビ秋植増反推進事業費の増額。鳥獣被害防止総合対策事業の捕獲活動にかかる補助金の単独事業への組み替え。事業量の調整による県営負担金の減額。

「土工費」は、野間島間港線の事業費追加による増額。町道伏之前線・坂井熊野線は、単価改定等による増額。中山川河川管理道路舗装工事を計上。

「消防費」は、役場庁舎太陽光発電設備導入

事業の委託料への組み替え。退職手当普通負担金率減少による熊毛地区消防組合への負担金減額。

「災害復旧費」は、増田小学校擁壁復旧工事費の設計単価の増及びブロック積み高の増による増額。

◆一般会計補正予算(第4号)

町長の給料20%カット及び損害賠償請求事件の裁判にかかる費用、また、既存住基システム等をインターネットから遮断する経費を計上しています。

各会計毎の補正額と予算の総額は別表のとおりです。

別表

平成27年度会計別予算額

会計名 (補正号数)		補正額	補正後の予算額
一般会計 (第3号)		4,183万円	70億1,493万円
(第4号)		297万円	70億1,586万円
特別会計	国民健康保険会計 (第2号)	▲1,561万円	15億2,781万円
	簡易水道事業会計 (第2号)	0万円	2億6,148万円
	介護保険事業会計 (第2号)	81万円	10億5,698万円
	後期高齢者医療会計 (第2号)	550万円	1億4,155万円
水道事業会計(収益的支出) (第2号)		0万円	1億9,545万円

補正予算の主なもの



公立種子島病院組合負担金
(医療機器購入他) **2,073万円**



中山川河川管理道路舗装工事
800万円



増田小学校擁壁復旧工事費
161万円

【その他主なもの】

- 公用車購入 (総務課) **229万円**
- 番号制度関連機器改修 **193万円**
- 中南衛生管理組合負担金
(多重円板型汚泥脱水機購入) **488万円**
- 中央保育所軽トラック購入 **107万円**
- サトウキビ秋植増反推進事業
補助金 **103万円**
- 地方特定道路整備事業負担金
(野間島間港線) **394万円**



田淵川 寿広 町長

限らず、所得の低い家庭環境から、進学するのをあきらめている子どもが増えていると言われています。

町長 植え付けしたいが、苗がない農家が秋植えて17ha、春植えて68haとなっています。

町長 各種助成事業については、集計結果を尊重しながら、既存事業への組み合わせや、財政事情も

また6月に設立した農家組織に対し、一市二

就学援助策

奨学金等の支援策は

町長／向学心のある生徒には支援できるように努力したい



下田 敬三 議員

下田 保護者の所得格差からの教育格差が、問題視されているが町の就学援助の現状は。

町として、新たな支援の必要性はないか。

しかし、調査表の回収率が55%と、半数近くは集計されていないので、

考慮しながら、今後検討いたします。

町及び関係機関が連携し、担い手育成を図っていきます。

町長 教育法に『経済的理由から就学困難な児童・生徒の保護者に市町村は必要な援助をするもの。』として定められております。

町長 離島からの進学は、経済的に大変厳しいものがあります。財政的な絡みもありますが、向学心のある子どもたちに、進学できるように支援策を前向きに検討します。

町長 西之表市は、農業公社が受託する株出し管理作業、新植マルチ作業及び地力増進事業を助成します。

町長 行政・農協・関係機関・農家が、知恵も意見も出し、力を結集して、頑張る姿が求められています。

平成26年度の支給内訳は、小学生が57人で支給額は280万円、中学生が30人で支給額は240万円となっております。

町長 平成27年度は、小・中学生合計で、89人が認定されています。

町長 その新植対策としては、町単独の原料用種苗の確保・地力増進事業と国の増産基金事業とを併せて、秋植え及び春植えの推進を図ります。

町長 南種子町は、農業法人が受託する地力増進事業に助成します。

島内統一メニューとして、近々、発動される『サトウキビ増産基金事業』を活用し、原料用の新植種苗への助成事業を行ないます。

秋植えの推進対策は

町長／原料用種苗の確保と、国の増産基金事業で対応する

下田 ひとり親世帯に限らず、所得の低い家庭環境から、進学するのをあきらめている子どもが増えていると言われています。

下田 7月に秋植えの原料用種苗確保と、要望したい助成事業の調査があったが、その集計結果は。

町長 各種助成事業については、集計結果を尊重しながら、既存事業への組み合わせや、財政事情も

また6月に設立した農家組織に対し、一市二



▲サトウキビ植え付け作業



若者定住対策

人口減少の重要課題である若者定住対策は

町長／有識者を委員に委嘱して検討作業を進めている

日高 和典 議員

小規模校への、今後の方向性は町長／今後5年間は現状の学級数は維持できると見込んでいます。

日高 星原、納官小学校が特に小規模校と

日高 いかにかに若者が定住するか、課題であるがその対策は。

町長 基本目標として安定した雇用の創出、町への人のビックウェーブ戦略、子育て世代の住みよい町づくり、持続可能である特色ある地域づくりの4つを揚げ、作業を進めています。

日高 若者担い手の定着を図るための、農業の振興と活性化の施策は。

町長 認定農業者・青年就農給付金制度や、農業公社が行なう研修事業制度等を活用していただきたいと考えます。

また、農業青年クラブを再創設して、仲間づくりの環境整備を目指し、法人化を推進していきます。

なっているが今後の方向性は。

教育長 保護者、地域の意見を十分に聞き、将来的な再編も念頭に入れておく必要があります。

日高 定員割れが続けば、島内に高校は1校でいいと懸念されるが、地元高校への進学希望者を増やす対策は。

教育長 学校、市町村も、どのような手立て・応援ができるか模索しているのが実情です。継続して研究していきます。



中脇 努 教育長

企業誘致への取り組み状況は町長／継続して情報収集等、誘致に向けた取り組みに努める

日高 I T関連企業誘致への取り組み状況は。

町長 I T関連企業は本町の特性に合致するものであり、誘致対象にあります。ただし、光回線が未整備のため、必要経費について調査依頼を行なっています。

アンテナショップ設置への進捗状況は町長／当面は随時の情報発信事業を推進する

日高 鹿児島市にアンテナショップを設置して、全国に情報発信すべきと考えるが、進捗状況は。

町長 今後の調査・研究課題と考えます。

災害時の緊急連絡体制は町長／防災担当職員による情報連絡体制をとっている

日高 地震・津波・大雨等の災害時の緊急連絡体制は。



▲増田地区防災訓練

町長 日頃からの周知を徹底し、今年度、地域防災計画の見直しを行ない再度検討します。

日高 災害時要援護者の支援体制の整備状況は。

町長 毎年、各校区単位で地域ケア会議を開催し、集落ごとに一人暮らしの高齢者や介護認定者を中心に近隣の関わりについて協議しています。

日高 防災避難訓練の今後の計画は。

町長 毎年、地区を指定して自主防災組織・消防団員等を中心とした地域防災訓練を実施していきます。

日高 今後も消防団員に対する役割の重要性・必要性を認識し、安心安全な町づくりに努めていきたい。

◆ビックウェーブ戦略

中種子町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)の基本目標と基本施策の一つで、本町の、自然景観や歴史と伝統、有形無形の資源など、観光及び交流人口の増加に大きな期待が持てることから、訪れてみたい、住んでみたいと思われる、様々なイベントの開催や交流も含めた誘客に注力し、通過型から滞在型に成長していくことで地域の活性化を担う人材の育成、地域経済・雇用機会の創出を図ること。



蓮子 信二 議員

企業誘致による雇用の増大への取り組みは

町長／県と連携して誘致活動に取り組んでいる

蓮子 選挙公約に掲げ、施政方針でも述べたが、企業誘致による雇用の増大についての取り組みと具体策について。

町長 雇用の増大につながる業種として製造業があるが、地理的要因から、原材料を移入し、製品を移出する製造業は輸送コストがネックとなり誘致には不利な状況にあります。

ただし、離島というハンディがあっても、地元にある原材料・資源を加工・製品化する製造業であれば、移入コストがかからないため、地元資源を活用した製造業を対象として検討する必要があります。

これら農産物のほか、地域特性を考慮した、IT関連や宇宙関連企業なども誘致対象に含め、雇用の確保につながる誘致活動が必要です。

蓮子 県との連携について。

町長 鹿児島県及び県

内36市町村で構成する県企業誘致推進協議会に参加し、企業向けに優遇制度を紹介するパンフレットによる情報発信や情報端末を利用して、環境エネルギー分野への誘致活動などのほか、アドバイザー・誘致専門の配置による情報収集活動など共同で取り組んでいます。

蓮子 町独自の取り組みと受け入れ態勢は。

町長 取り組みとしては、まだ具体化はしていません。町条例により、固定資産税を減免する優遇制度があります。誘致にかかる用地としては、企業立地促進法に基づく種子島地域産業活性化計画において、種子島空港跡地・熊野干拓跡地及び苦浜地区を重点地区として指定しています。

ホームページの見直しや、新たにフェイスブックを立ち上げ、誘致企業のリストアップについては、関東中種子会

など各出身者の会で情報を把握して、誘致活動を展開していきたいと思えます。



▲種子島空港跡地

原発の使用済み核燃料の最終処分場受け入れについて
町長／受け入れの考えはない

蓮子 平成27年6月9日に開催された経産省資源エネルギー庁の説明会に出席した真意と対応は。

町長 主たる目的の鹿児島県宇宙開発促進協

議会のついでに旅程に合わせ資料の収集程度の認識で出席したものであり、町民に候補地として検討しているのかのような誤解、あるいは憶測をもたらしたとするならばお詫び申し上げます。

この自然豊かな中種子町に核廃棄物処分場をという気持ちは毛頭ありませんし、受け入れの話があれば、大反対です。

小学校再編について
町長／地区内の動向を見ながら検討

蓮子 小学校再編について、3年前、今のところ再編は考えていないとありましたが、町長もかわり保護者もかわってきている中、再度保護者、校区役員等と語る会を実施する考えは。

町長 町内7つの小学校はいずれも、これまでの歴史のなかで、地域の拠点として役割を果たしてきたことや、学校が

なくなると疲弊するなどの賛否両論ありますが、今後地区内の動向を見ながら、保護者や関係者、町民の各年代、各層の意見を聞きながら方向性を見定めて参ります。

教育長 児童数が年々減少することが予想されることから、小学校再編については本町の教育環境の充実と次代を担う子供たちの育成の面からも、今後の方向性を検討しておくことが必要と考えます。

各校区・地域の中には賛否両論、いろんな意見があるうかと思えますが、今後県や地区内の状況も踏まえながら、学校関係者、保護者、単位PTA会長、各関係団体の代表者の意見を聞くとともに、アンケート調査も含め、今後の本町の学校再編等のあり方について早い時期に検討します。



公共工事

「建設業法」の中の専門工事の各法令を役場は、熟知しているか

町長／細部にわたっては 熟知していない

池山 朝生 議員

池山 建設業法という

建設課長 建築一式の場合、総合的に企画することであり、専門工事の免許を有している下請業者を使わなければなりません。

町長 指名委員会での業者選定は適正に行われています。また、下請に付する場合は、専門工事の資格が必要です。

池山 専門工事業は、26種類ある。役場が公共工事を発注するうえにおいて、この専門工事業が含まれている工事においては、必ず専門工事業の免許が必要である。当然この事が分かっ

たうえで指名業者選定はなされていなければならぬと思うが、どうか。

池山 「中種子町まち・

町民への告知・周知の徹底を図れ 町長／広報活動にしっかり取り組む

町長 告発されている現状であり、答弁は控えさせていただきます。

池山 本町出身者からの問い合わせもある。事実であれば不名誉。相手方に毅然とした態度で臨むべきと思うが。

「公共工事の不正疑惑」のピラが配られている

池山 農家は額に汗して生活している。公共工事は全て税金で賄われている。

法律がある以上、執行する側は、法律遵守のうえからもしっかりした知識がなければ業務を行なってはならない。



▲地方創生推進本部会

町長 資料配布に関しては島内の参加者には当日、島外関係者の方も資料を見ていただくに十分な時間ではなかったか。

告知・周知、事前の会議資料配布は十分であったか。

池山 島外からの有識者の参加をいただいていた。今後、周知の徹底を心がけてまいります。

町長 ありがたい制度であり早期に募集をかけた、早急に取り組みを進

めまします。 「ふるさと納税」専門チームを結成し、本気度をもって取り組み町長／「地域おこし協力隊」の活用も考え、専門チーム結成に取り組み

池山 都市地域から過疎地域（田舎）に住居を移してもらい、若い能力ある人材を「地方創生・地域おこし」に役立ててもらおう制度である。また、活動経費は全て特別交付税で支援してもらえないと考えるが。

「地域おこし協力隊」の活用を図れ 町長／早急に取り組み

池山 6月議会において寄付者、特に本町出身者の納税意欲を促す企画を図るよう質問をした。本気度を持って取り組んでいる姿勢が出身者の皆様に伝わること

池山 6月議会において寄付者、特に本町出身者の納税意欲を促す企画を図るよう質問をした。本気度を持って取り組んでいる。町長 取り扱う課を、どこに置くかも含め、専門チームを結成し本気度を持って取り組みます。



永瀆 一則 議員

災害対策

阿高磯川の氾濫対応策は

町長／応急処置的対応として寄り洲の除去を実施する

永瀆 大雨のたびに大洪水、川下には二軒の人家があり、そのすぐ近くを蛇行しているため、潮の關係によつては、浸水あるいは孤立の恐れもあり非常に危険な状態であるが、町としての対応策は。

町長 今回の災害現状の視察もしました。

準用河川改修事業をする場合は、阿高磯川は普通河川のため、議会の同意を得て準用河川に格上げし、その上で事業を進めることになりませんが、事業費が高額になるために、県の指導を仰ぎながら、確実に事業が進められる事を確認した上で議会の手続きをする必要があります。慎重に調査、研究しながら進めていきます。また、町単独で用地を買収し、大型土嚢を積んで越水防止を図る必要性もあると考えます。

永瀆 サンシャインダリーンのため池の水を



▲阿高磯川

雨期前に抜き、豪雨に備えれば下流の洪水も少しは軽減できるのではないか。町長の所見は。

町長 下流の寄り洲などは町単独で除去を実施します。

サンシャインの池の件については、県と協議をしながら防災対策に寄与できないか検討を進めていきます。

下流の二軒の人家を含め、田んぼなどに被害が及ばないように、この事業がどういう方向で進むかわかりませんが、それが着工に至って完了するまでの間は、除去

作業をしていきます。

永瀆 いずれにしても人命・財産が大事、財政的に厳しいことは承知している。一刻も早く対応してもらいたい。

学校給食アレルギー対応策は
教育長／専門調理員を配置して対応

永瀆 中種子町には、小・中合わせてアレルギー体質の児童、生徒は何人いるか。いるとしたらその対応は。

教育長 養護学校を含めた695名中アレルギー児童は、小学生16名、中学生6名の22名で、卵によるものが多く11名、魚介類が7名、乳製品が4名、甲殻類3名などです。

センターの対応としては、ほぼ毎日アレルギー対応調理のため、調理員を1名配置し、除去食調理を行なつて

います。

永瀆 学校側も緊急時の備えとしてエピペンを打つための注射器を常備していると聞くが、研修は行っているのか。

また、これまで兆候のなかった子どもが突発的にアレルギー体質になる事があるのか。

教育長 それぞれの学校で給食担当者を中心とした研修を実施しています。

野間小に2名エピペンを常時携帯している児童がいます。先生が毎回確認し、カバンに保管しています。

また、教職員も緊急時に備え研修を実施しています。

永瀆 給食に潜むリスクから子供たちをどう守るか用意周到な事前

の取り組みが必要と思うが所見は。

教育長 危機感を持って、学校との情報を共有していくことが大事です。

常に、緊急事態を想定しながら対応できる体制をとっておくことが大切だと考えます。

永瀆 全国の例では、教育活動中に、死亡事故も何件か起きているようです。

これらの事件、事故を教訓に、あらゆる方向から、学校教育に取り組んでいただきたい。

◆エピペン

食物アレルギーなどによるアナフィラキシー(急性の全身性かつ重度なアレルギー反応)に対する緊急補助治療に使用される医薬品。



子育て支援

出産・子育て支援について

町長／限られた財源で息の長い支援

戸田 和代 議員

戸田 熊毛管内では、かなり手厚い金額の支給というのですが、近年、3人目、4人目という方々が増えて来てい

ます。かなり育てやすい環境づくりが進んできており、また、周りに育児に関わるサポーターがいるということ、親であつたり、兄弟、友達、地域の皆さんが大きな力、出産祝金の増額を3子、4子に考えてみては、

町長 西之表市では、子育て応援券支給事業として、2万4000円分のチケット支給。南種子町は第1子から一律10万円。屋久島町は第1子から一律3万円を支給。本町における出産祝い金支給事業は、他市町と比べても手厚い支援を行なっています。

町長 3人目、4人目となると、親の負担も大きくなります。財政状況もみながら、子どもを育てやすい環境づくりは、行政に委ねられた大きな課題、前向きに進めま

ふるさと出産祝い金制度の考えは。

戸田 ふるさと出産は病院経営に大きく貢献しています。

町長 里帰り出産が病院経営に貢献していることは十分認識してお

り、1市2町で医院組合の方針もあると思います。1市2町足並みを揃えていければと考えています。

国道・県道の環境整備が重要では町長／県に強く要望していく

戸田 2020年には東京オリンピック、鹿児島国体が開催されます。国内外より種子島を



▲保育所運動会

訪れる方が多くなるとは。年2回の清掃ではとても荒れ放題です。1市2町声を上げて働きかけるべきでは。

町長 種子島地区道路愛護協議会を発足し、国道、県道の花壇の植栽管理、清掃、草刈りなど環境美化に協力いただいております。今の2回は足りないかと強く要望します。

町長 町民総参加の花いっぱい運動の取り組みについて、町民の志で、県道、国道、ロータリー、花壇に、自主的に四季折々の花が植えられています。本当にありがたいです。

町長 種子島地区道路愛護協議会を発足し、国道、県道の花壇の植栽管理、清掃、草刈りなど環境美化に協力いただいております。今の2回は足りないかと強く要望します。



濱脇 重樹 議員

道路管理

道路の維持管理について

町長／道路整備員を増員し維持管理に努めている

濱脇 高齢化が進み人口の減少・後継者不足等の理由により、維持管理が困難になりつつある。管理作業は、整備員を増員し検討していくとのことだったが、その後の経過は。

町長 平成25年4月から整備員を1名増員し、4人体制で、生活産業路線を中心に町道の維持管理作業をしています。

濱脇 中種子町の人口の推移を見ると、相当人口が減少すると出ている。対策が必要と思うが。

町長 地域住民の負担を少しでも軽くしていくように、対応策を考えていきます。

今後については、管理作業している路線を継続しながら、シルバー人材センターや委託を含めながら、検討し対応を考えています。

多面的機能支払交付

金事業等を実施している集落は、この事業で対応していただき、それ以外の集落は、重機等や高所作業車の提供を考えたいと思っています。



▲集落内町道管理作業

濱脇 整備済みの場所で法面などを、メンテナンスフリー工法で対応し、予算を計上すべきと思うが。

町長 高い法面とか危険な作業ですので、メンテナンスフリー工法は非常に良いと考えています。新しく着工する道路以外にも、財政と相談しながら予算化していきたいと考えています。

多面的機能支払交付



▲メンテナンスフリー工法



▲カバープランツ工法

広域農道においては、カバープランツ(被覆植物)を施工して、除草作業を軽減しています。

郷土芸能の存続について
教育長／活動の気運を高める支援を検討していく

濱脇 町内には多くの伝統行事があり、地域ごとに特色ある郷土芸能がある。まさにその存続が困難になっているが、早目の対策が必要ではないか。

教育長 急速な過疎化高齢化の進行による後継者不足で保存・伝承が難しくなってきたという認識しています。行政としては、郷土芸能の保存・伝承活動は、集落や保存会と行政がそれぞれ役割があると考えており、披露の機会や場所の提供であったり、経費の財政支援や後方支援をしていくのが望ましいと考えています。

今後は、新たな文化財指定や指定文化財保存団体補助や、管内市町の取り組みも参考にして

まいります。
濱脇 専門家に撮影していただき、録画で残すと将来復元ができるのでは。

教育長 保存・継承の取り組みとして、区長や伝承してきた方々の意見を聞きながら、発表の様子やビデオ等を収集して、消滅しないように手立てを講じていく必要があると思っています。

濱脇 各中種子会の節目の年に郷土芸能を披露するという考えはないか。

町長 出身者の皆さんから要望があれば、何らかのサポートをしようと思っっています。郷土芸能を理解してもらうためにも、集落・地域が盛り上がっていくためにも、招へいしていただくような形が取れればというふうに考えています。



水道事業

町営水道の石綿管の布設 替えについて

町長／年次的に整備を進める

徳永 紹道 議員

徳永 町内には合わせて244戸の町営住宅があり、4分の1が40年経過しており、37戸は50

町営住宅の建て替えについて
町長／長期振興計画に基づき整備する

町長 石綿管は昭和30年代から昭和50年に創設され、耐震性が低く劣化が進んでいます。強度が低下し漏水の原因です。まだ12km半残っています。年次的に整備を進め、財政との絡みがあるが、更新がスムーズに進むように努力します。

徳永 本管を布設して50年を過ぎており、水道管として使用していけない石綿セメント管がまだかなり布設されている。漏水量も相当なもの聞く。町民生活に直接関わる公共工事を、計画前倒しして早めるべきと思う。仕事が少ない今、仕事を興して経済活動を活発にするべきではないか。

ごみ袋代金と資源ごみについて
町長／西之表とのごみ袋統一に向け協議する



▲町営住宅

町長 地元材を活用し、長期振興計画に基づき整備していきたい。可能であれば、起債をして、行政主導で、少しでも早く取り組めるよう努力します。

時任建設の指名停止にかかる責任と処分について
徳永 6月議会で重大な責任を感じている、み

また、資源ごみの回収代金は町民に還元できないのか。

町長 昨年度2回西之表市とごみ袋統一に向けて検討会を開いたが、平成27年度からの統一は見送るということで、話し合いは終了しました。今後も統一に向け協議していくことで合意しています。町では、価格を少しでも安くするため、袋の厚みを薄くしています。

資源ごみの回収代金は種子島清掃センターの運営費の負担金に充てているため、町民への還元は難しいところです。

町長 職員の処分については現段階では考えていません。みずからの処分は減俸等の検討を行なったが、寄付行為等が公職選挙法と諸問題にとらわれる部分も若干あります。

選挙前の後援会だよりも、町民の皆様の日々の御苦労に報いるため、みずから1割以上の給料カットや町長車の廃止など、無駄を省いた効率的な行政運営を目指しますと書いておられます。

議会の皆様も民意と行政改革を鑑みた議員定数の削減を決定されました。私も減俸の方向で来年度予算に提案したいと考えています。

建設課の職員が建設業法を知らなかったでは仕事が終わらない。町長個人は刑事告発されています。南日本新聞にも載せられ、不名誉なことです。町長は法律を守り、過ちがあったら改める。6月議会でも言ったが、はじめをつけるのは今ではないか。

副町長 地方公務員法に該当するかどうか、今後十分検討させていただきます。

町長 町長報酬を減俸するときは、条例を作ったときに諮れば良いんです。中種子町職員懲戒審査委員会規定があります。委員長は副町長です。職員も懲戒の対象になると思うが。

町長 けじめをつける意味で、この9月議会の最終日に提案させていただくことになるかと思えます。

町長 町長報酬を減俸するときは、条例を作ったときに諮れば良いんです。中種子町職員懲戒審査委員会規定があります。委員長は副町長です。職員も懲戒の対象になると思うが。

《所管事務調査報告》 産業厚生常任委員会

産業振興について

当委員会は、産業振興について、7月30日から8月1日迄の日程で、鹿屋市串良町にある柳谷集落（通称やねだん）と、大隅加工技術研究センターを調査・研修しました。

自治公民館長の豊重哲郎氏は、住民と一緒に行政に頼らないまちおこしに取り組み、地域再生の要点として、住民で出来る事は住民でやっていく。

地域を生まれ変わらせ、本気で取り組んで行く仕掛けが必要であり、自主財源の確保をし続けるとの説明でした。

やってはいけない事は何かを考え、あわてるな・急ぐな・近道を



▲柳谷自治公民館（やねだん）

するなの信念と、本気の情熱である事の確認、マイナスから始める逆転の発想から動き始めたとの事でした。

唯一の資源は人であり、人材は貴重な財産、理想は全員参加と話し、地域活動では絶対に犠牲者を出してはいけない。との話でした。

自主財源確保の為、①休耕地を利用したサツマイモ栽培②無農薬・

無化学肥料で栽培したサツマイモで、芋焼酎の開発・販売③土中に生息する細菌に、米ぬかや砂糖を加え発酵させた土着菌生産④韓国から提案された、トウガラシ栽培等に取り組んでいました。

無化学肥料で栽培したサツマイモで、芋焼酎の開発・販売③土中に生息する細菌に、米ぬかや砂糖を加え発酵させた土着菌生産④韓国から提案された、トウガラシ栽培等に取り組んでいました。

主な質疑

問 子どもの目と、80の知恵を生かすべしと掲げているが。

答 子ども達は、大人に敬意を払い、大人達は子どもに教えるというコミュニケーション作りに取り組んでいる。

問 加工の方法は。

答 さつま町の食品加工グループ、ハローさつまに協力を頂いている。

問 作付の方法は。

答 ハウス栽培は経費

がかかるため、自然農業でやっている。との答弁。

次に、農産物の高付加価値化を目的に、県が造った大隅加工技術研究センターは、加工品の試作づくりや販路拡大を支援するため、約27億円を投入して、今年4月にオープンしました。

施設の概要は、加工ライン、加工開発、流通技術実験施設を新築し、改修した企画・支援施設の4施設です。事業体系は、「技術を生み出し人を育てる」をスローガンに、研究開発部門、施設の開放、企画・支援施設事業を行っており、研究開発部門では、加工・高品質殺菌・流通貯蔵技術を、進めています。

また多様な品種による6次加工の活性化や畑作農業の維持と、加工食品産業の活性化を



▲大隅加工技術研究センター

答 約30種類で、保存期間が長くできる実験施設や、機器も置いてある。

問 サツマイモの商品化は難しいか。

答 農産物の成分をできるだけ崩さないように、加熱や酸化の研究開発をしている。との答弁。

まとめ

目指しています。流通技術としては、青果物の鮮度保持期間を延長する事が可能との研究成果が出ている事から、民間メーカーが開発したシステムの活用による青果物の貯蔵、輸送時の評価等の研究を行っているとの説明でした。

主な質疑

問 種子島・屋久島に、施設計画はあるのか。

答 計画はない。

問 何種類の野菜を加工しているのか。

地域を自立させ本町の農産物の6次産業化を推進し、高齢化の進んだ地域の活性化・活力を取り戻すためには、強力なリーダー等の人材育成が不可欠である。また、地域の特性を生かす専門的な技術員が必要で、行政だけでなく企業や生産者等が一体となって、取り組む事が重要であると、委員全員の一致した意見でした。

《所管事務調査報告》 総務文教常任委員会

地域活性化について

「日本一の子育て村構想」を目指す島根県邑南町の取り組みを8月19日から21日までの日程で調査しました。

邑南町は、島根県の中央部にあり広島県との県境に位置し、山林面積が86%を占める盆地の多い地域です。

平成16年に3町村が合併し人口1万1487人、高齢化率41.9%の農林業が主な産業の町です。

日本全体が人口減少の中で、高齢者の支え手を増やすために、若者定住、少子化対策を図るための子育て世帯

にやさしく住みやすい町づくりを目指す「日本一の子育て村構想」と邑南町の生産者が育てた食材で、「A級グルメ立町」を2本柱として定住促進に取り組んでいる町です。

また移住者支援対策として定住支援コーディネートと定住支援員による移住希望者、移住者の仕事や住宅、近隣との付き合い方など、移住後もいろいろな悩みをケアしながら、町民全体が地域で子育てし、「持続可能なまち」を目指している。

主な施策



産婦人科医・小児科医を常勤、常勤医師11名、24時間緊急受付・ドクターヘリによる緊急搬送体制の確立。

中学校までの子供医療費の無料化、各種検診費用や不妊治療費の助成。

保育料第2子目以降、完全無料（第1子目も国基準の6割）保育所は完全給食で無料。

病児保育事業・一時預かり保育事業の実施。その他、医療福祉施設へ従事する人の知識取得のための学資援助、卒業後町内で取得した

資格を生かした職に就いた場合、奨学金の免除。

高校存続支援のために、専任職員を高校に派遣し、矢上高校の魅力を町内外の中学校にPRしています。

また、現役東大生によるオンライン授業。

全町に光ファイバーを敷設し、ケーブルテレビ放送、高速インターネットの環境整備をしっかりと行なっています。

財源については、過疎債を充当。また、地域おこし協力隊33名を受け入れ現在27名が定住。

宣伝活動は、東京にサテライトオフィスを設置、マスコミ系に強い非常勤職員を採用し、テレビや雑誌に情報を投げかけています。

少子高齢化の解消に向け、10年計画で子育て世帯の移住を掲げ、多くの事業を利用して定住促進の実績を上げています。

5年目となる現在も、担当課だけに任せることなく役場全体、職員一丸となって、町民と一緒に「持続可能なまちづくり」を目指しています。

その成果として邑南町民の生活満足度は、

84%というアンケート結果がある。

まとめ

今回の視察から、委員の意見として本町も子育て世代への助成事業は行っているが、今後は子育て世代だけに限らず、移住者定住の方策を、早急に計画性をもって立ち上げるべきであるとの意見でした。



▲邑南町役場

公立種子島病院組合議会第2回定例会

徳永留夫議員一般質問



徳永 留夫 議員

よう言われていますが、その対策は。

保についてはあらゆる手を尽くしています。11月になればきちんと目途がつくと思います。



▲公立種子島病院

○再度管理者に返りさ
いての経営方針は
●基本的には前回と変
わらない

徳永 管理者に返り咲
いて、もう4か月が経ち
ました。自治体病院とし
ての経営方針・方向性
は。

名越管理者 病院の基
本方針は条例にあるよ
うに、両町住民の健康保
持に必要な医療を提供
するため公共の福祉を
増進しなければならな
い。

平成16年に現在地で
の開業から、診療科目の
充実を含め事業運営を
図ってきましたが、非常
に厳しい状況が続いて
います。その役割として
民間医療機関が参入し
にくい不採算部門に介
入し、学校医・産業医・
予防接種・救急時間外
診療等へ取り組む責務
があることを理解し運
営されるべきと考えま
す。

名越管理者 県の医師
会長も訪問し、自治体病
院を減らしたら絶対駄
目だと、これを譲っては
いけないと言われてい
ます。

○ベッド数は維持でき
るか
●自治体病院のベッド
数は譲れない。関係機関
に要望する

徳永 病床数を地域の
実情に応じて減少する

○医師確保の現状と目
安は
●あらゆる手を尽くし、
10月1日からは3人に
復元。

徳永 医師確保が最大
のネックかと思いま
すが、現状とこれからの目
安は。

名越管理者 満足する
患者へのサービスは5
名以上できないとできま
せん。10月1日からは3
人に復元します。医師確

○中種子町民からの意
見もかなりあるが、副
管理者の見解は
●十分な役割を發揮し
ているとは言えない状
況。

徳永 中種子町民の利
用者は若干2割程度。町
民から色々な苦情等を
耳にします。累積赤字も
莫大です。副管理者とし
ての見解を聞かせて下
さい。

田淵川副管理者 中種
子町民がこの公立病院
についてどうあるべき
か、そのニーズにどう応
えていくべきかを模索
する必要があります。考
えます。患者の診療報酬割
合では昨年実績で2割
程度、とても十分な役割

を發揮しているとは言
えない状況です。中種子
町の医療行政が安定的
に長期的に提供できる
体制を作ることが私に
課せられた責務と使命
です。町民の利用効率を
高め、高度医療機械等の
施設整備を充実して、安
定的かつ継続的に管理
者、長田副管理者と議論
を積み重ね、組合議会と
も連携をとりながら運
営をしていきます。魅力
ある医療体制作りには、
医師の確保が重要です。
地域の活性化という観
点からも光ファイバー
等の導入が必要かと考
えます。

○職員の患者さんへの
対応は今のままでいい
か
●10月1日新院長発令
後、再度基本理念にか
えり職員一丸となって頑
張ります

徳永 この病院の四つ
の基本理念を、もう一度
職員に徹底させ、南部圏
の医療体制を確立させ、
まずは医師の確保を優
先し、健全経営に取り組
んで欲しいです。病院問
題を決して政争の具に
して欲しくありません。

種子島産婦人科医院組合議会第2回定例会

濱脇 重樹 議員 一般質問



濱脇 重樹 議員

種子島産婦人科医院新築工事について

濱脇 議員 沿って順調に進んでいると報告を受けています。移転等の時期は完成次第に移行し、関係各位のご協力をお願いし、可能であれば3月中旬での移転開院を目指しています。

濱脇 議員 市役所や鹿児島県の検査、医療機器等の導入など相当日数がかかると思うが、オープン

事務局長 予定工期が3月10日ということですが、検査を1週間程度の範囲内ですると伺っています。

濱脇 議員 医療機器につきましては、11月中に残りを入札する計画でいます。

事務局長 オープンの時期が3月20日については、その前後で移転できないか計画を進めています。現在それに向けて調整をしています。

濱脇 議員 工事が始まって約2ヶ月が経過しましたが、その進捗状況は、また、工期内完成を目指す計画どおり進んでいるのか。

事務局長 補助金関係の問題もあり予定より多少遅れましたが、設計業者と十分な協議の上、工期を計算して法廷工期という範囲内の発注をしています。順調に

長野管理者 本体等の工事が2月末、外構工事が3月10日となっています。進捗状況は、工程計画

進捗状況は、工程計画

工事は進んでいます。



▲ 新産婦人科医院建設状況

一部事務組合議会

種子島地区広域事務組合議会

中南海衛生管理組合議会

●27年第2回臨時会(7月14日)

第2回臨時会において、鎌田勇二郎議員が副議長として当選されました。

また、徳永留夫議員が議会選出監査委員に選任されました。

●27年第1回臨時会(6月11日)

第1回臨時会において、徳永留夫議員が副議長に当選されました。

公立種子島病院組合議会

種子島産婦人科医院組合議会

●27年第1回臨時会(6月11日)

●27年第1回臨時会(7月14日)

第1回臨時会において、鎌田勇二郎議員が副議長に当選されました。

第1回臨時会において、鎌田勇二郎議員が議長に当選されました。また、日高和典議員が議会選出監査委員に選任されました。

条例

●中種子町個人情報保護条例の一部改正

平成25年5月に行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（いわゆる番号法）の施行に伴い、すべての国民にマイナンバー（個人番号）が付番されることとなり、町が保有する特定個人情報データの適正な取り扱いを確保するとともに、情報提供等記録を含む特定個人情報に対する必要な保護措置を講じ、並びに本人が請求できない特別な理由がある場合における、保有個人情報の開示請求権者を追加するための改正です。

●中種子町手数料徴収条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するた

めの番号の利用等に関する法律の施行に伴い、事務の通知カードの再交付手数料を1枚につき500円とし、施行日を制度のスタートとする平成27年10月5日とするものです。

●町長の給与の特例に関する条例

平成27年10月1日から、平成27年12月31日までの間の給料の額を、町長等給与条例第2条第1項第1号に定める額の20%減額とし、平成27年12月31日限り、その効力を失うものです。

臨時議会

平成27年第4回臨時議会

●平成27年度中種子町一般会計補正予算(第2号)

6月25日の梅雨前線及び7月20日の熱帯低

気圧による集中豪雨により災害が発生したため、復旧に係る経費を緊急に計上するものです。「公共土木施設災害」については、補助要件に該当するものが道路1件、河川14件の合計15件。

単独分として道路5件と応急復旧に係る重機借上料、原材料費を計上。

「農林水産業施設等」については、補助要件に該当するものが農地31件、農道等の施設が14件。単独分として応急処



▲道路災害



▲河川災害

理にかかる重機使用料、原材料費を計上。

「文教施設災害」については、増田小学校擁壁復旧工事1件で、応急処理にかかる重機使用料、原材料費を単独分として計上するもので、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億4177万4千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ69億7309万9千円とするものです。

決算特別委員会を設置

平成26年度各会計の決算については、決算特別委員会が審議します。

決算特別委員会は、平成27年9月28日から10月1日までの4日間開催され、各決算内容を審査し、12月定例会で委員長が報告します。

議長が指名した決算特別委員は次の8名です。

委員長	濱脇 重樹
副委員長	日高 和典
委員	下田 敬三
	迫田 秀三
	徳永 紹道
	蓮子 信二
	永濱 一則
	山元 みさ子



▲現地調査（油久小学校運動場・屋内運動場）

その他

平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率について

地方財政健全化法で毎年公表することになっており、一つの指標でも早期健全化基準以上となった場合には、財政健全化計画を策定しなければなりません。また、公営企業についても資金不足比率の公表が義務づけられ、基準以上になった場合は経営健全化計画を策定しなければなりません。中種子町は早期健全化比率を下回っており公営企業についても資金不足比率はありません。

平成26年度決算の健全化判断比率

指標の名称	比率	早期健全化基準
実質赤字比率	なし	15.0%
連結実質赤字比率	なし	20.0%
実質公債費比率	9.2%	25.0%
将来負担比率	27.7%	350.0%
資金不足比率	なし	20.0%

消防ポンプ自動車購入契約について

○契約の目的
消防ポンプ自動車購入
○契約の方法
指名競争入札による契約
○契約の金額
一 金2322万円(消費税込)
○契約の相手方
鹿児島市松原町12番32号
鹿児島森田ポンプ株式会社
代表取締役 尾曲昭二
地方自治法第96条第1項第8号の規定により可決がなされました。



教育委員の任命

中種子町の教育委員として、冷水精子氏との同意がなされました。2期目で今後、4年間の任期となります。



▲冷水 精子氏

人権擁護委員選任の同意

中種子町の人権擁護委員として、笹川満夫氏への同意がなされました。2期目で今後、3年間の任期となります。

種子島屋久島議会議員大会

第5回種子島屋久島議員大会が、10月6日南種子町において県議会議員・熊毛支庁長・一市三町の市・町長を来賓に迎え開催されました。

来賓祝辞のあと、永田西之表市議会議長が大会議長として選出され、前回大会の採択事項処理結果報告がなされた。続いて各市町の提出議案及び共同提案の審議を行ない、全て採択され鹿児島県と県議会に陳情することになりました。

採択された要望事項は、
●農林水産業対策について
●西之表南種子線の整備促進について
●島間港の整備促進について
●屋久島空港の滑走路延伸の早期実現についての4件。
共同提案として、
●離島航路の交通対策等の強化についての1件です。
次回、6回大会の開催は、西之表に決まりました。



▲大会開催状況

議会傍聴においでください。

平成27年12月議会は9日に招集される予定です。

町民の皆様には、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。

町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。定員は28名です。

議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。開会日前には、防災無線でお知らせします。

議会の動き

10月		9月		11月	
31日	自衛隊演習部隊歓迎式	28日	決算特別委員会(10月1日)	29日	種子島相撲大会
26日	県離島議長会行政視察	22日	種子島ALOHAフェスティバル	27日	種子島糖業振興会臨時総会
25日	町相撲大会	20日	小学校運動会(野間小は27日)	22日	町民文化祭(展示21~23日)
22日	議会運営委員会行政視察	14日	公立種子島病院組合議会	15日	町駅伝競走大会
18日	堺まつり	13日	熊毛地区ホルスタイン共進会	11日	町村議長会全国大会
13日	熊毛地区消防組合議会定例会	11日	熊毛地区ホルスタイン共進会	10日	離島議長会全国大会
11日	町民体育祭	9日	中学校体育大会	7日	農林漁業祭
10日	ふるさと交流ゴルフ大会	3日	議会運営委員会	1日	国民文化祭CGアートのフェスティバル(展示~8日)
6日	種子島屋久島議会議員大会		9月定例会(18日まで)		
5日	種子島地区脳神経外科医確保対策協議会				
4日	種子島産婦人科医院組合議会定例会				
3日	陸上自衛隊西部方面隊創隊60周年記念行事				

編集後記

「スポーツの秋」、各学校の運動会、町民体育祭も盛況裏に終わり、いよいよ「収穫の秋」が始まります。今年もサトウキビの生育が思わしくなく2年続きの不作が予想され厳しい状況にあります。救いは畜産農家にとって子牛の販売価格が高値で推移していることではないでしょうか。この状況がいつまでも続くことを祈りたいと思います。

また、農家に不安を与えているTPP交渉も大筋合意で決着しましたが、まだまだ先行き不透明である中、熊毛・大隅地区代表の森山裕衆議院議員が農林水産大臣に就任されたことは、農業県である鹿児島県民に希望と元気がわいてきた気がします。今後の農業政策とTPP対策のため、大臣の手腕に期待したいと思います。町民の皆様のご健勝をお祈りいたします。

広報編集委員会

委員長 日高和典

副委員長 蓮子信二

委員 戸田和代

委員 池山朝生

委員 永濱一則

委員 山元みよ子

